SBエナジーが苫東で
2期目のメガソーラー設置検討

ソフトバンクグループのSBエナジー（本社・東京）が、苫小牧東部地域内で、ソフトバンク苫東安平ソーラーパークに次ぐ、2期目の大規模太陽光発電所（メガソーラー）の設置を検討していることが分かった。出力規模などは未定だが、関係者によると、既に苫東内で敷地を借り受けているという。

同社は2015年に苫東内の安平町遠浅（敷地166㌶）で、国内最大級の出力111㍋を誇るメガソーラーを稼働。設置パネルは東芝製の約44万4000枚で、年間発電量は一般家庭3万世帯相当の約1億801万4000㌔㍗時となっている。

2期目の発電所に関しては同社幹部は「1期目を計画する際、既に構想にあった」と述べ、建設の可能性を示唆。3月には苫東で敷地を借り受けていることからも整備に向けた動きが出ている。

1期目では三井物産と50%ずつ出資し整備したが、2期目では「案件によって違うので、特に決めていない」（同幹部）としている。

中古マンション購入 検討世帯が増加傾向
国交省 新築価格高騰背景に

国土交通省の調査で、住宅を購入する際に中古マンションの購入を検討する世帯が増加傾向にあることが明らかになった。結果的には分譲マンションを購入したものの、中古マンションを比較対象にした世帯は前年度比7・1㌽増の31・8%に増加。4年前の12年度と比べると13・2㌽増加している。

調査は、住み替え・建て替え前後の住宅や住宅に居住する世帯の状況を把握するため、01年度から行われている住宅市場動向調査。15年4月から16年3月までに住宅を購入した842世帯が回答した。

分譲マンションを取得した世帯に対し、取得時に検討した住宅の種類を聞くと（複数回答）、分譲マンションが最多の78・8%だったが、前年度と比べ6・9㌽減少。次いで多かったのが中古マンションの31・8…

…戸建て住宅の…

…を上回った。

国交省はこう…

出店は18年…
大塚家具 入居テ…

家具販売の大塚家具（本社・東京）が計画している札幌市内での大型店の出店時期が、2018年以降になることが分かった。当初は17年をめどに検討していたが、入居するテナントが見つからなかったことから再度調整するとした。売り場面積は3000―7000平方㍍を想定している。

同社は当初、15―17年度の中期計画で…積1万平方㍍…店の未出店地…て、札幌市を…ていた。しか…ト入居する施…らなかったため…2、3年をめど…数が点在する…店を目指したい…当者）とし、計…すことにした。

札幌市内では…ッポロファクト…館で売り場面積…平方㍍の1号店…ン。個人向けに…ダイニングや…家具、カーテン…どの商品を提…た。22日から…面積を82平方㍍…住宅のモデル…ホテル・旅館の…

日本グランデ
平岸に分譲MS計画
5月中旬の着工予定

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、札幌市豊平区で分譲マンションの仮称グランファーレ平岸新築を計画している。自社で設計を進めており、5月中旬ごろの着工を予定している。

同マンションは2棟で構成する。いずれもRC造、11階建てで、西棟が延べ3783平方㍍、42戸、東棟が延べ3577平方㍍、41戸の規模で構想。西棟、東棟ともに2LDK、3LDK、4LDKの間取りを設ける。

共用施設としてシアター＆通信カラオケルーム、フィットネスルーム、リラクセーションラウンジなどを検討する。駐車場は85台分を用意する。

建設地は札幌市豊平区平岸2条12丁目70。完成は2018年9月ごろを予定している。

フォレスタで着工
中央区の賃貸MS新築
アウル

アウル（札幌市中央区南1条西20丁目1の25、谷降志社長）は、札幌市中央区で計画している賃貸マンションの仮称OWL―S9W6MS新築をフォレスタで着工した。

同マンションはA、B棟の2棟で構成。それぞれRC造、5階、延べ1389平方㍍の規模で、屋外駐車場を2台ずつ設ける。

A棟は1LDK16戸、2LDK10戸で構想し、1階部分にテナントが入る見込み。4月に着工済みで、12月の完成を予定している。

B棟は1LDK24戸、2LDK5戸で構想。5月ごろの着工、2018年4月の完成を目指している。

建設地は札幌市中央区南9条西6丁目285。設計はエートランスデザインワークスが担った。

道東あさひ畜産クラスター協
農…

【根室】道…産クラスター協…海町別海緑町…9、田中博行…日、別海町内で…産・酪農収益…等特別対策事業…地区12工区建設…地区13工区建設…区12工区建設は…争入札を行った…・みどり建工…億3070万円…地区13工区建…設・中村興業…

BMW中古車センターに
○…国際興業…○
中央営業所リニューアルへ

国際興業（東京都中央区八重洲2丁目10の3）が、札幌市中央区北1条西14丁目に所有する現中央営業所を、BMW車を専門に取り扱う中古車センターとしてリニューアルすることが明らかになった。南正人社長は「宮の森営業所への移転が完了した後、本年度中には着手したい」と話している。

27日にオープンを控えた、宮の森営業所への機能移転に伴う計画。月寒営業所や、東区北35条東1丁目4の5の既存の中古車センター「BPS札幌」からもBMW中古車の販売部門を独立させることで、サービスの強化を図る。

現中央営業所はS造、2階、延べ602平方㍍の規模で1992年に建設。現在は新車ショールームや整備工場として営業している。リニューアルは、既存の建物を活用した改装となる見込み。

同社外車部では、将来的にBPS札幌での取り扱いをポルシェ専門に絞ることで、ポルシェ部門の事業拡大も視野に入れている。

敷地が2倍の規模でオープンする宮の森営業所

国際興業
宮の森営業所が完成
BMWブランド発…

国際興業（東京都中央区八重洲2丁目10の3、南正人社長）は20日、札幌市中央区で宮の森営業所の竣工式を行った。施工の熊谷組、設計を担った構造デザイン設計など関係者が駆け付け、BMWブランドの新たな発信拠点の誕生を祝った。

外車部の宮の森営業所は、手狭になっていた中央区北1条西14丁目の中央営業所からの移転新築。新車ショールーム棟（S造、2階、延べ1065平方㍍）と洗車棟（S造、平屋、延べ78平方㍍）、工場棟（S造、2階、延べ949平方㍍）、車庫棟（S造、2階、569平方㍍）の4棟で構成する。

敷地面積は現営業所の2倍、延べ面積は4倍…張。7台の展示車を…ショールーム棟は、B…ブランドと高級住宅…趣を生かし、広々とし…雅な空間づくりを心…た。

南社長は「札幌市内…